

平成25年度当初予算のポイント

1 平成25年度当初予算編成方針

管理組合の平成25年度当初予算は、「四日市港戦略計画(2011～2014)」の3年目であることを踏まえつつ、限られた行政経営資源で最大の効果が得られるよう、「選択と集中」を一層進めつつ、着実に事業の推進を図ることを目指します。

2 予算の概要

◇ 予算規模

(単位：千円、%)

区 分	24年度当初予算	25年度当初予算	増 減 額	伸び率
一 般 会 計 (県 市 負 担 金)	5,930,364 (3,596,307)	6,257,303 (3,465,640)	326,939 (△130,667)	5.5 (△3.6)
港湾整備事業特別会計	2,697,813	5,137,972	2,440,159	90.4
合 計	8,628,177	11,395,275	2,767,098	32.1

(1) 一般会計

- 一般会計の予算総額は62億5,730万3千円で、平成24年度当初予算額と比較しますと、国直轄事業負担金や社会資本整備総合交付金事業費等の港湾建設費が増額となること等により、3億2,693万9千円の増となっています。
- 財源の多くを占める県市負担金につきましては34億6,564万円で、平成24年度当初予算額と比較して1億3,066万7千円の減となっています。

この主な要因は、使用料・手数料が約1,200万円増加するとともに、公債費が約1億5,000万円（県市負担金ベース）減少する見込みであること等によるものです。

(2) 港湾整備事業特別会計

- 港湾整備事業特別会計の予算総額は51億3,797万2千円で、平成24年度当初予算額と比較して24億4,015万9千円の増となります。これは、荷役機械の改修工事や霞ヶ浦地区北埠頭土地造成等に伴い、建設事業費が増加すること等によるものです。
- また、公債費が7,363万6千円増加する見込みとなっています。

◇ 建設事業費

(単位：千円、%)

区 分	24年度当初予算	25年度当初予算	増 減 額	伸び率	
一 般 会 計	国直轄事業	576,667	1,155,000	578,333	100.3
	国補事業	987,000	1,170,000	183,000	18.5
	単独事業	210,685	500	△210,185	△99.8
	計	1,774,352	2,325,500	551,148	31.1
港湾整備事業特別会計	198,451	2,531,244	2,332,793	1,175.5	
合 計	1,972,803	4,856,744	2,883,941	146.2	

◇ 公債費

(単位：千円、%)

区 分	24年度当初予算	25年度当初予算	増 減 額	伸び率
一 般 会 計	2,791,740	2,610,088	△181,652	△6.5
港湾整備事業特別会計	1,802,439	1,876,075	73,636	4.1
合 計	4,594,179	4,486,163	△108,016	△2.4

3 主な事業

【政策1 背後圏産業の発展を支えるみなと・四日市港づくり】

H24 : 1,837,307 千円→H25 : 4,775,162 千円

(1)産業の国際競争力強化に資する港湾サービスの提供

- 背後圏荷主企業の環境負荷低減への取組に対する支援と四日市港の利用促進を目的として、従来のグリーン物流促進補助制度に、コンテナのラウンドユース事業を追加し、四日市港が最寄港となる未利用荷主を中心に利用提案を行うとともに、荷主企業のニーズの高い航路を中心に航路誘致補助事業を活用して、船社に対して誘致活動を行います。
- また、霞ヶ浦地区北埠頭のコンテナターミナル背後の港湾関連用地において、地盤改良工事等を行い、新物流センターの施設用地として早期供用することで、四日市港のコンテナ貨物量のさらなる拡大や荷主企業の物流コスト低減と利便性向上を目指します。
- この一方、四日市港の国際競争力の強化と背後地域経済の一層の発展のため、臨港道路霞4号幹線の整備などを進めていきます。
また、船舶の活動が効率的かつ安全に行われるよう支援するため、土砂の堆積を防止する観点から天カ須賀防砂堤を整備していきます。

(特別会計)

- ・グリーン物流促進補助事業 H24:50,000 千円→H25:25,000 千円
- ・航路誘致補助事業 H24:20,000 千円→H25:20,000 千円
- ・霞ヶ浦地区北埠頭土地造成事業費 H25:1,955,000 千円(新規)

(一般会計)

- ・国直轄事業負担金 霞4号幹線 H24:548,667 千円→H25:1,130,000 千円
- ・社会資本整備総合交付金事業(港湾改修事業費)
天カ須賀防砂堤(補助率:4/10) H24:20,000 千円→H25:120,000 千円

【政策1 背後圏産業の発展を支えるみなと・四日市港づくり】(つづき)

(2)港湾活動の安全・安心の確保

- 整備後数十年を経た港湾施設が多く存在するため、優先度を勘案しつつ計画的に維持補修を進めていきます。
また、老朽化が進んでいる岸壁の防舷材等についても、更新に着手します。
- 老朽化し、耐震性が不足している船員船客待合所については、利用者に安全で快適に過ごしていただけるよう、必要な改修を行っていきます。
- 四日市港における国際犯罪やテロ行為などの発生を防止するため、改正 SOLAS 条約に対応した保安対策について、警備保安業務委託を行い、引き続き適切に対応していきます。

(一般会計)

・社会資本整備総合交付金事業(港湾補修事業費)

22号岸壁防舷材補修工事など(補助率:1/3)

H24:117,000千円→H25:140,000千円

・単独港湾施設維持補修費

四日市地区2号地泊地の浚渫、臨港橋開閉装置の補修など

H24:157,591千円→H25:220,591千円

(特別会計)

・港湾施設改修費

3C上屋耐震補強及び改修工事、S3号機(荷役機械)改修工事など

H24:150,951千円→H25:524,762千円

・船員船客待合所改修工事

H25:12,190千円(新規)

(一般会計)

・改正 SOLAS 条約対策推進費

H24:109,787千円→H25:94,454千円

【政策2 都市・住民とともにあるみなと・四日市港づくり】

H24 : 1,046,172 千円→H25 : 1,105,645 千円

(1)親しまれるみなとづくり

- 多様な主体の参画により、「みなと講座」や「四日市港まつり」、四日市地区における「秋のみなとフェスタ」などを開催し、港とふれあう機会の創出に努めていきます。
- また、公園・緑地の適切な維持管理を行い、四日市港を訪れる人々がくつろぐことのできる空間の提供に努めていきます。

(一般会計)

・イベント・交流事業費

みなと講座、港まつり、秋のみなとフェスタの開催など

H24:1,563 千円 →H25:1,514 千円

・展望展示室運営事業費

H24:8,540 千円→H25:8,137 千円

・単独緑地維持補修費

H24:47,473 千円→H25:47,473 千円

(2)暮らしの安全・安心の確保

- 四日市港背後の住民の安全・安心を確保するため、海岸保全施設の点検を行うとともに、維持補修や補強対策を引き続き行っていきます。
- 四日市地区において第3埠頭15号岸壁の耐震強化を着実に進めていきます。

(一般会計)

・社会資本整備総合交付金事業(海岸事業費)

富田港地区の護岸補強工事、新富洲原ポンプ場電気設備改修

H24:200,000 千円→H25:260,000 千円

・単独海岸保全施設維持補修費

千歳地区逆流防止弁補修工事、新富洲原ポンプ場修繕費等負担金など

H24:48,391 千円→H25:45,737 千円

・国補港湾改修事業費

第3埠頭15号岸壁の耐震強化対策工事 H24:600,000 千円→H25:600,000 千円

【政策3 環境にやさしいみなど・四日市港づくり】

H24 : 14,114 千円→H25 : 14,400 千円

- 四日市港は、港内に残された自然海浜や干潟を保全し、誰もが容易に自然と触れ合うことができる「人と生き物にやさしいみなど」の実現を目指しています。
- 管理組合は、今後も引き続き、水質等のモニタリングを定期的に行って水環境の保全などに努めていきます。
- また、再掲になりますが、緑地・公園の適切かつ効率的な維持管理を行うとともに、グリーン物流促進補助制度を通じた荷主企業の環境負荷低減への支援を継続的に行うこととしています。

(一般会計)

・環境調査推進費

水質・底質調査及び地盤沈下測量など

H24:9,011 千円→H25:9,031 千円

・単独緑地維持補修費 (再掲)

H24:47,473 千円→H25:47,473 千円

(特別会計)

・環境調査推進費

石原地区埋立事業環境監視委託

H24:4,723 千円→H25:4,762 千円

・グリーン物流促進補助事業 (再掲)

H24:50,000 千円→H25:25,000 千円